



コスモピア

2023 夏
vol.112

社会福祉法人 秋桜会

〒716-1401 岡山県真庭市五名574-1

TEL 0866-52-4771 FAX 0866-52-4772

Eメール kosumosunosono@kosumosukai.jp

ホームページ kosumosukai.jp



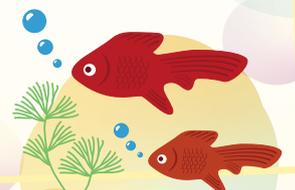
障害者支援施設 コスモスの園

就労継続支援B型事業 コスモスワーク

共同生活援助事業 コスモス共同生活事業所

相談支援事業 サポートステーションコスモス

放課後児童健全育成事業 ほくぼう児童クラブ



「これからの
交流を考える」

社会福祉法人 秋桜会

理事長 奥田健治

「少数者と多数者が逆
転した社会を想像する
力が大切」

前回、「みんなちがってみんないい」だけでは社会は変わらないと言いました。何かができないとも知らなくとも、うまくしゃべれなくても普通に暮らせる仕組みづくりが重要です。こちやませの社会でも安心して暮らせる社会です。それがインクルーシブ(すべての人が包み込まれ共生できる)社会づくりです。

できないことや見えないことがどんなに不便かは小学生の福祉学習で車イスやアイマスク体験で身をもって感じています。少数派を知って思いや願いを想像する学習です。障害がある人は社会では少数派かも知れないけれど逆に多

数派になった社会を想像してみてください。例えばほとんどが車イス生活の中で僅かに二立歩行の人がいる社会です。車イスに合わせた低い基準の建物のみでは、二立歩行の人には不便ですから高い天井も普通に必要です。高い天井がインクルーシブ社会のしくみの一つです。視覚障害者が多数の社会ではすべて点字表示が普通ですが、点字のみの図書では視力がある少数の人に

は不便さを感じるでしょう。そこで、すべてを音声表示にすれば良いかもしれません。でも、聴覚障害の人が加わればさらに想像力が要求されま

「障害は人を巻き込んで
生きる天才」

私は障害とは、「自分がしたいことを一人では完結できない」個性だと考えています。だから人を巻き込んで生きようとする巻き込みの天才です。そしてみんなできれればいいわけです。そうすると、障害がある人は、みんなが幸せになるために生まれてきた人たちだと思えます。彼らに取り込

まれてインクルーシブな社会にすれば、みんなが幸せになれるという想像力が働きます。子ども社会の中の数人の大人の社会なら、子どもたちは大人たちを無視できません。力の弱い子どもが非常時に大人に守ってもらう場面を想定できないと、子どもだけの暮らしは綻びます。翻って今、私たち大人が不登校やいじめ、虐待などで生きづらさに苦しむ子どもたちや我が子の相談に

きちんと向き合っているか不安です。少子化で優先すべきは、子どもたちの弱さに巻き込まれる大人が増えることです。日常の生活での交流を通して障害に向き合うことで、少数者の生きづらさに思いを遣る「思いやり」の想像力と共生のための合意形成に向かう努力が生まれます。

「小さな声に耳を傾ける」

つまり共生社会の実現という課題解決には小さな声(少数者の声)に耳を傾け、変えようとする周りの想像力がすごく重要だという意味です。実はコスモスの園やワーク、ホーム並びに児童クラブ、相

談事業等々の支援員は、想像力を最大限働かせて声なき声を聴き逃すまいと毎日頑張っています。支援員は、今起きている事実を自分たちの問題として考える豊かな想像力を働かせて解決の方法を探ります。例えば、強度行動障害で見られる強い自傷や他害などの状況は、生来的でなくその場の不安と混乱による心の叫びと読み取れます。職員は個別の心の声を想像して、利用者の特性に合った環境設定による支援を統一的に計画的に継続的にを行います。結果、随分落ち

着いて生活できるようになります。利用者の小さな声を聴き取って、否定や命令や支持を抑えて、寄り添いながら適切な環境設定する支援員の努力です。

「共感力を磨く」

施設の支援員はみんな共感力が高い職員です。寄り添いができる伴奏ができます。障害者スポーツで目の不自由なアスリートと紐で結ばれて一緒に走る伴走者を想像されるといいでしょう。この共感力は種の進化で獲得したホモ・サ

ピエンス(ヒト)が生得的に持っている能力です。健全な地域共生社会のためには、この共感力を意識化させる教育が幼少期から必要です。わかりやすく言えば人権感覚の育成です。人の話を聴く傾聴体験を積む活動や交流による共感力を高める訓練です。イベント交流だけでは養えません。研修会だけでも不十分です。利用者だけでなく向き合い、心の声を想像する場づくりが必要

です。秋桜会の職員は日々利用者とかかわりながら、初めて利用者との交流される人はそうはいきません。だから地道な交流をどうしても続けなければいけません。以前の交流を復活するなかで、新たな知恵を仕組む必要があります。

新たな交流によって、人と人との信頼関係を構築する方法を模索したいと考えています。次号から福祉支援で広く認識されている「バイステックの7原則」などをお示しながら交流を通しての人間関係づくりのヒントをお伝えします。

令和4年度 事業報告

社会福祉法人 秋桜会



令和4年度も引き続き新型コロナウイルス感染症のリスクを避ける行動を根底におき運営した。その効果として、新型コロナウイルス感染症が国内で報告され現在に至るまで入所施設利用者においては、感染者を一人も出すことなく年度を終えることができた。

社会福祉充実計画「コスモスの園移設建て替え事業」は、設計業者が決まり令和8年の完成に向け大きく進んだ。

地域貢献活動については、感染症予防対策を講じながら無料買物送迎サービスに取り組み、計画とおりに運行することができた。

会計面では、当期活動増減差額が本部拠点区分では、コスモスの園からの繰入を行いプラスとなったが、コスモスワーク拠点区分では、利用定員を満たしていない事等がありマイナスとなった。法人全体ではプラスとなっている。

コスモスの園

障害者支援事業

(施設入所および生活介護)

令和4年度は施設入所50名、生活介護52名で開始した。年度途中に男性1名が退所し女性1名が入所している。

生活支援では継続して新型コロナウイルス感染症防止対策を行った。ワクチン接種、施設内の消毒、外泊の中止等また、行事も施設外行事を中止し園内行事のみで対応した。結果として利用者の方の感染はなく過こせている。日中活動支援においては各作業班が各々の特色を生かしながら、利用者の特性に配慮して支援してきた。障害者虐待防止の更なる推進のため、4月より「虐待防止委員会」の設置が義務化された。それを受けて、園では虐待防止部会を検討委員会に設け、研修の実施と従業員への周知に努めた。また、個別支援計画に基づいたサービスは、より具体性をもった計画が進められるように見直しを進めた。

通院数は3年度よりも減少している。医療機関のクラスター発生等があり通院を控えたことが要因と思える。一方で転倒による緊急通院が増え、利用者の高齢化・重度化が深刻になってきている。

防災については、災害に備え事業継続計画(BCCP)を作成し食料等の備蓄を進めている。土砂災害避難訓練では、ほくぼう児童クラブへの避難を実施した。また、火災を想定した訓練は夜間と日中に実施した。

在宅支援事業

(短期入所、日中一時支援)

短期入所事業については、個別支援計画に基づいて健康や安全に配慮した適切な保護を行い利用者の特性に応じたきめ細やかなサービスの提供に努めた。利用前に新型コロナウイルス感染症対策として抗原検査を実施した。また、職員配置数により重度者の受け入れが困難となる場合があった。利用者数は計9名となり、延べ利用日数は176日となっている。

日中一時支援については、3名の方の利用があり、延べ利用日数は39日となっている。

コスモスワーク

(就労継続支援B型)

利用者の高齢化、障害の重度化により個々の心身状況に応じた生産活動の提供に配慮してきた。授産収入に関しては新型コロナウイルス感染症の影響もあまりなく、当初予算を上回る収入があった。各事業においては、農業生産は木質ペレット袋詰め、生産を中心に、黒大豆・葉ポタンの栽培や草刈り・草取り・墓掃除等の請負に取り組んだ。製品加工は継続して園芸作業とペットフュード袋詰め・箱詰め、の請負に取り組んだ。食品加工は焼き菓子の真庭市内学校給食等への販売、岡山県セルプセンターのいちおし商品販売への参加等を行った。

生産活動以外では新型コロナウイルス

感染症対策をとりながら4月の花見12月の忘年会、2月のボウリング大会、4月と10月の家族会を実施した。

就労活動による収入は前年度比で約11%減となり、工賃総支給額も前年度より約8%減となったが、利用者数が減っており、一人当たりの工賃は若干増えている。

開所日数	245日
工賃実績(月額)	21,648円
工賃実績(時間額)	183円
延べ利用者数	3,965人

コスモス共同生活事業所

(共同生活援助事業)

引き続き新型コロナウイルス感染症対策を実施してきたが、余暇の充実を図るため、感染状況に配慮しながら外出等の活動を進めてきた。また、利用者旅行を再開した。通院支援においては市内の新型コロナウイルス感染症状況を考慮しながら支援してきた。通院回数は前年度より内科・耳鼻科が減る一方で、歯科が増えている。

今年度も利用者の高齢化や障害特性からくるニーズを職員間で話し合い、状況に応じた支援を行うように努めてきた。

サポートステーションコスモス (相談支援事業)

令和4年度は5月に管理者の交代、7月に前管理者が退職し4月から9月までの半年間は相談支援専門員1名での相談支援業務となった。10月に相談支援員(園と兼務、相談支援専門員資格未)の配置を行った。相談者数は45名(者)11名、児32名となっており、概ね計画どおり増えているが、今後の増員に關しては十分に時間を取る事が難しい事なども鑑み検討が必要な状況となつてきている。児童に対しては利用計画と並行して、学校と療育機関との連携、進学面の相談など多岐にわたる支援が求められた。者の支援においては高齢化から介護保険との連携が必要になるケースや、地域生活において重点的な支援が求められる利用者が増え、地区保健師やサービスマン事務所、その他行政や関係機関等との連携を細やかに図り、安心して生活できるよう支援を行った。利用者一人ひとりが希望する生活を送ることができるよう、本人ニーズを汲みながら色々なサービスマンの選択ができるよう支援している。

ほくほく児童クラブ (放課後児童健全育成事業)

令和4年度利用児童は、常時利用19名、一時利用29名、計48名の登録となった。一日平均の利用児童数は15.8人で、低学年の利用が多く例年と同じである。新型コロナウイルス感染症により小学校が4月、7月、12月に計7日間休校し

たことにより、児童クラブも小学校に準じて感染予防対策から閉所した。また、8月には児童クラブ内で複数の感染者がでたことにより、3日間閉所して保健所の指導の元、消毒作業や清掃を行った。

児童支援では、3月にこども園を訪問して就学前の子どもの様子聞き、1年生になった時に安心して過ごせるように、支援員間の情報共有を図った。小学校とも連絡会議を開き、児童の小学校が安心して行われるように協力し合っている。また、児童の問題行動等について情報共有を行い協力して支援している。今年度は2名が放課後児童支援員認定資格を取得した。

コスモスおでかけ便 (地域貢献活動)

地域貢献活動として、ご自宅からマルナカ北房店までの乗り合い式無料送迎サービスマンを継続運行している。基本的な新型コロナウイルス感染症予防対策を講じ運休すること無く運行できた。年度途中から会員登録の費用も頂かないように変更し、完全無料での地域貢献活動の一つとなった。

今年度の新規利用の登録者は、2名おられるが、退会者5名となり年間を通し3名の減少となり年度末時点の会員数は13名となっている。今年度は、147便運行し、利用延べ人数は、昨年度より43人減り482人となっている。



法人単位貸借対照表

令和5年3月31日現在

資産の部				負債の部			
科目	当年度末	前年度末	増減	科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	481,788,080	463,766,567	18,021,513	流動負債	9,121,215	9,984,797	-863,582
現金・預金	431,045,113	413,078,483	17,966,630	事業未払金	3,577,955	4,204,388	-626,433
事業未収金	50,164,451	49,588,858	575,593	その他の未払金	1,086,477	1,182,631	-96,154
未収金	549,144	1,012,944	-463,800	一年以内返済予定リース債務	0	0	0
商品・製品	29,372	86,282	-56,910	未払費用	2,393,399	2,541,419	-148,020
その他の流動資産	0	0	0	職員預り金	2,063,384	2,056,359	7,025
固定資産	675,361,415	680,494,436	-5,133,021	固定負債	38,446,179	37,494,884	951,295
(基本財産)	309,166,990	318,469,068	-9,302,078	設備資金借入金	0	0	0
土地	146,701,290	148,464,000	-1,762,710	リース債務	0	0	0
建物	162,465,700	170,005,068	-7,539,368	退職給付引当金	38,446,179	37,494,884	951,295
定期預金	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
(その他の固定資産)	366,194,425	362,025,368	4,169,057	負債の部合計	47,567,394	47,479,681	87,713
土地	42,274,000	42,274,000	0	純資産の部			
建物	1	1	0	基本金	257,341,000	257,341,000	0
構築物	5,095,020	5,617,659	-522,639	基本金	257,341,000	257,341,000	0
機械及び装置	20,106,890	22,690,251	2,799,427	国庫補助金等特別積立金	114,547,107	120,430,668	-5,883,561
車輛運搬具	2,810,094	4,275,254	-1,465,160	国庫補助金等特別積立金	114,547,107	120,430,668	-5,883,561
器具及び備品	5,222,113	6,353,191	-1,131,078	その他の積立金	250,000,000	240,000,000	10,000,000
有形リース資産	0	0	0	積立金	250,000,000	240,000,000	10,000,000
権利	800,128	800,128	0	次期繰越活動収支差額	487,693,994	479,009,654	8,684,340
ソフトウェア	1,440,000	2,520,000	-1,080,000	(うち当期繰越活動収支差額)	18,684,340	-7,634,600	26,318,940
退職給付引当資産	38,446,179	37,494,884	951,295				
積立資産	250,000,000	240,000,000	10,000,000	純資産の部合計	1,109,582,101	1,096,781,322	12,800,779
その他の固定資産	0	0	0				
資産の部合計	1,157,149,495	1,144,261,003	12,888,492	負債及び純資産の部合計	1,157,149,495	1,144,261,003	12,888,492

脚注 1.減価償却の累計額 321,059,061円 (内国庫補助金等の額 156,941,893円)
2.徴収不能引当金の額 0円

法人単位資金収支計算書

(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日

勘定科目		決算	
事業活動による収支	収入		
	児童福祉事業収入	11,244,424	
	就労支援事業収入	8,536,134	
	障害福祉サービス等事業費収入	314,618,199	
	経常経費補助金収入	0	
	経常経費寄付金収入	95,000	
	その他の収益	0	
	受取利息配当金収入	8,804	
	その他の収入	7,401,638	
	事業活動収入計(1)	341,904,199	
支出	人件費支出	255,245,299	
	事業費支出	40,112,488	
	事務費支出	10,602,207	
	就労支援事業支出	7,875,944	
	支払利息支出	0	
	その他の支出	2,735,015	
	事業活動支出計(2)	316,570,953	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	25,333,246	
施設整備等による収支	収入		
	施設整備等補助金収入	0	
	施設整備等寄付金収入	0	
	固定資産売却収入	5,419,854	
	その他の施設整備等による収入	0	
	施設整備等収入計(4)	5,419,854	
支出	固定資産取得支出	877,800	
	ファイナンス・リース債務の返済支出	0	
	その他の施設整備等による支出	0	
	施設整備等支出計(5)	877,800	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	4,542,054		
その他の活動による収支	収入		
	長期運営資金借入金元金償還寄附金収入	0	
	長期運営資金借入金収入	0	
	積立資産取崩収入	2,665,963	
	その他の活動による収入	18,000	
	その他の活動収入計(7)	2,683,963	
	支出	長期運営資金借入金元金償還支出	0
		積立資産支出	13,617,258
その他の活動による支出		0	
その他の活動支出計(8)	13,617,258		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-10,933,295		
予備費(10)	0		
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	18,942,005		
前期末支払資金残高(12)	453,695,488		
当期末支払資金残高(11)+(12)	472,637,493		

法人単位事業活動計算書

(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日

勘定科目		決算	
サービス活動増減の部	収入		
	児童福祉事業収益	11,244,424	
	就労支援事業収益	8,536,134	
	障害福祉サービス事業収益	314,618,199	
	経常経費補助金収益	0	
	経常経費寄付金収益	95,000	
	サービス活動収益計(1)	334,493,757	
	費用	人件費	256,196,594
		事業費	40,112,488
		事務費	10,602,207
就労支援事業費用		8,457,676	
減価償却費		14,376,437	
国庫補助金等特別積立金取崩額		-5,585,414	
徴収不能額	0		
サービス活動費用計(2)	324,159,988		
サービス活動収支差額(3)=(1)-(2)	10,333,769		
サービス活動外増減の部	収入		
	借入金利息補助金収益	0	
	受取利息配当金収益	8,804	
	その他のサービス活動外却益	7,401,638	
	その他の活動による収益	18,000	
	サービス活動外収益計(4)	7,428,442	
費用	支払利息	0	
	その他のサービス活動外費用	2,735,015	
	その他の活動による費用	0	
サービス活動外費用計(5)	2,735,015		
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	4,693,427		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	15,027,196		
特別増減の部	収入		
	施設整備等補助金収益	0	
	施設整備等寄付金収益	0	
	長期運営資金借入金元金償還寄附金収益	0	
	固定資産売却益	3,657,144	
	その他の特別収益	0	
	特別収益計(8)	3,657,144	
	費用	基本金組入額	0
固定資産売却損・処分損		0	
国庫補助金等特別積立金積立額		0	
その他の特別損失		0	
特別費用計(9)	0		
特別増減差額(10)=(8)-(9)	3,657,144		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	18,684,340		
繰越活動収支差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	479,009,654	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	497,693,994	
	基本金取崩額(14)	0	
	その他の積立金取崩額(15)	0	
	その他の積立金積立額(16)	10,000,000	
	次期繰越活動増減差額(13)+(14)+(15)-(16)	487,693,994	



コスモスワーク (就労継続支援B型事業)

水害に備えて

備中川のほとりにあるコスモスワークは、豪雨の際に川があふれると、水にかかることが想定されます。そのため、避難確保計画を作成し、毎年五月に避難訓練を行っています。

今年度は、五月十五日に実施しました。情報収集から避難までの手順と避難経路を確認した後、実際に避難場所まで歩きました。利用者さんも真剣な表情で参加され、落ち着いて行動されていました。



水害避難訓練の説明



避難場所へ無事到着



これから皆で避難場所へ



グループホーム (共同生活援助事業)

余暇支援

コロナ感染上の位置づけも5類に下がり、社会活動が緩和され、イベントも少しずつ復活し参加できるようになってきました。

ある男性利用者はキャンピングカーでの1泊旅行を計画、日本一の駄菓子屋や乙ガンドム、蒜山方面から北上し米子市へ。県外へ出での旅



キャンピングカーの前でピース!!



は思う存分楽しめたとの感想でした。その他の方も地域のイベントに参加され、それぞれが久しぶりに戻ってきた日常を楽しまれていました。

コロナウイルスに対し、まだまだ気は抜けませんが、最低限度の感染対策を行いながらも、個別ニーズに沿って余暇の充実を図りたいと思います。

コスモスの園 施設外散策



片道2kmの
旅へ出発!!



外でおいしい
お弁当♡



カニを探そう!

川が気持ちいい♪



きれいな花
見つけた!

ほくほく児童クラブ

公園でおやつ



ジャンプ!!



変顔~

新職員紹介



西本 みえ

7月よりコスモスの園に看護師として勤務させていただきます。今までと全く違う環境での仕事に戸惑うこともありましたが、利用者の方の健康管理を考えながら支援できるように日々頑張っています。よろしくお願いいたします。

職員募集



秋桜会では、入所の施設をはじめ、通所の作業所、グループホーム、放課後児童クラブ等の運営をしています。各事業所の利用者の生活・日中活動の支援及び介護等を行う職員を随時募集しています。調理員も合わせて募集しています。お気軽にお問い合わせください。

詳しくは、求人担当(天野)まで。
(0866-52-4771)

新型コロナウイルス

感染のお知らせ

この度、コスモスの園において新型コロナウイルス感染症が発生したことにより、ご利用者及びご家族様、ご関係者をはじめ多くの方々に多大なご迷惑とご心配をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

5月25日、最初の利用者の感染発覚後、一週間で9割の方が感染されました。最終的には利用者48人中42名、職員30名中19名の感染者ができました。保健所をはじめ、関係機関の方々のご指導、ご支援を賜りながら事態の収束に向けて職員一丸となり取り組んでまいりました。その結果、5月31日に最後の感染者が確認されて以来、新たな感染者は確認されていません。

コスモスの園では施設内で徹底した消毒を行い、利用者の方への感染対策を日々行っておりましたが、このようなクラスターが発生したことは非常に遺憾に思っております。今後は今まで以上の感染対策を講じ安全に生活ができるように努力を続けていくつもりです。

今度もご理解、ご協力の程よろしくお願いたします。

Quiz

前回の正解は「まにぞう」でした。当選された5名の方に過日景品としてコスモスフークの授産品のフッキーセットを送っています。

はがきに答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、コスモピアの感想を書き、〒716-11401 真庭市五名574-1 社会福祉法人秋桜会「コスモピアクイズ」係へ。正解者の中から5名に景品を贈ります。
(締め切り8月末)

問

グループホームの利用者がキャンピングカーで旅行したのは鳥取県の何市でしょうか？



クイズ

編集後記

今年の夏は昨年と同様に大変暑くなっています。職員の体調管理はもちろん、利用者への体調に気を配り支援を行っていきます。読者の皆様もお体に気をつけて今夏を一緒に乗り切りましょう！

(山・白金・森田)

コロナ感染についてご迷惑とご心配をおかけしました。また、それに伴いコスモピアも約一か月遅れてしまい誠に申し訳ございません。